



目標に向かって

校長 池田 和彦

西体育館前の紅梅がふくよかな香りを漂わせ、いよいよ春の気配が感じられるようになりました。弥生三月を迎え、この言葉の心地よい響きが、安らかな気持ちをもたらします。「弥生」の弥は「いよいよ」「ますます」 生は「生い茂る」 つまり草木がいよいよ芽吹くという意になります。季節や自然の移り変わりを柔らかな大和言葉に託す、日本人の細やかな情緒を感じさせます。そして3月は、子どもたちが1年間の歩みを振り返り、自らの成長を確認し、次の学年、学校等に向けての心の準備と期待を抱く時期でもあります。

「ある時、ウサギとカメが山のふもとまでかけっこの勝負をすることになりました。かけっこを始めると、予想通りウサギはどんどん先に行き、とうとうカメが見えなくなってしまいました。ウサギは少し疲れていたもので、余裕綽々（よゆうしゃくしゃく）で居眠りを始めました。その間にカメは着実に進み、ウサギが目覚めたときに見たものは、山のふもとの先でゴールして大喜びするカメの姿でありました。」

誰もが知っている「ウサギとカメ」の物語です。歩みの遅いカメはどうして足の速いウサギに勝つことができたのでしょうか。いろいろな読み取り方ができます。「足が速いことを知っていたウサギが油断したから」また、「カメがこつこつ努力したから」など、どれだけ自分の能力に自信があっても、油断せずに物事に取り組むことが重要である、ということがこの物語から学ぶことができる教訓と言えます。

ところが別の読み取りをした人がいます。「カメとウサギは見ていたものが違った」というのです。「ウサギは何を見ていたのか。ウサギはカメを見ていました。だからノロノロと歩き、やってこないカメに油断してしまい寝てしまった。対するカメは何を見ていたのか。歩みは遅かったけれど、カメはゴールだけをずーっと見ていた。ウサギに勝つことよりも、ゴールにたどり着くことを目指し、ノロノロ歩きながらもゴールに到達した。ウサギがどうであれ、カメは自分の目標を達成し、自分自身に勝ったのだ。」言わんとしているところは、ゴールは何かをしっかりと見極め、競争相手に惑わされることなく、実直にゴールを目指すことの大切さを説いているという読みです。

私たち人間は時間の経過を自ら認識できる存在です。過去を振り返り、未来をイメージすることができます。ですから、どうしても目の前の目標のでき具合がとても気になりますし、周囲の人と自分を比較し、自ずから評価をしてしまうことが多々あります。「誰々にできることが私はできる、いやできない」といったたぐいのことです。しかし、人はそれぞれもって生まれた能力、育った環境によって鍛えられた力が異なります。その場、その時によって、できることが違うのは当然なことです。隣ばかり、周囲ばかりを見てしまう。しかし、それがもたらすのはカメに負けたウサギ同様、残念な結果の可能性があるのです。大事なことは、カメと同じように自分の目標を明確に立て、そのゴールを目指し歩き続けることです。そのために私たち大人がなすべきこと。私たち大人は、子どもたちに精一杯の努力をさせているのでしょうか。その思いに応える環境を整えることができるのでしょうか。教師は教え込むのではなく、行く道を指し導いているのでしょうか。保護者は、子どもたちが歩む力の根源を整えているのでしょうか。朝ご飯、適した睡眠時間、子どもが困ったときの抱擁、ほめ言葉。子どもが目標を見失いそうになったとき、支え、導くのが大人のなすべきことです。そして、完璧でなくても、我々自身が子どもたちと同じように迷いながら、けれども目標に向かって歩き続けるその姿を見せていくことが大切なのだと思います。

卒業を間近に控えた6・9年生。「矜持」の精神を胸に、新たな世界で活躍してほしいと願います。そして1年生から8年生。その学年で学ぶべきことを終え、それぞれの思いを胸に進級します。桜の時期からくると、子どもたちの成長した様子が確かに伝わってきます。大泉桜学園のすべての子どもが心身ともに健やかな成長を遂げ、新たな気持ちで次のステップに力強く踏み出せるよう、さらに充実した教育活動を推進していきます。保護者、地域の皆様には、さまざまなところで多大なご支援・ご協力をいただきました。ありがとうございました。心より感謝申し上げます。次年度も、どうぞよろしくお願いいたします。

第5学年 社会科見学『明治製菓の工場見学と川の博物館』

第5学年担任 荻島 明子

2月2日（金）に社会科見学へ行きました。埼玉県にある明治製菓のお菓子工場と川の博物館を見学しました。

明治製菓の工場では、工場の敷地内に入ってバスから降りた瞬間、お菓子の甘い香りに包み込まれました。はじめに工場の様子や作られている製品、製造過程などを紹介するビデオを視聴しました。チョコレートの製造過程の中で、チョコレートの原料であるカカオ豆からチョコレートになる過程を見せていただきました。最初は真っ白な種であることを知り、子供たちも予想とは違うカカオの姿に驚いていました。その後、コンベアでチョコレートが製品になっていく様子を見学しました。

お菓子の製造過程の多くはロボットなど機械によって自動で行われていますが、最後は人の手や目によって品質や安全が点検されていることを知り、消費者の手に届くまでに多くの人が関わっていることを学びました。

川の博物館には、川や水と人々に関する様々な展示がありました。川の大型模型の横を歩きながら解説していただくガリバーウォークや水上の旅が楽しめるアドベンチャーシアターなど、実際に川を体感しながら、触れることができました。人々の暮らしには川や水が深くかかわっていることを学びました。

社会科見学を実施するにあたり保護者の皆様にはお弁当の用意や持ち物の準備等、ご協力いただきありがとうございました。



第6学年 社会科見学『科学技術館と国会議事堂衆議院の見学』

第6学年主任 山崎 晃

6年生は、2月16日（金）に科学技術館と国会議事堂衆議院へ社会科見学に行ってきました。

科学技術館に到着すると、すぐに班行動で見学をスタートしました。子供たちは様々なコーナーやワークショップを回りながら、科学の楽しさや科学技術の大切さを実験や体験を通して学ぶことができました。理科で学んだ電気の利用やてこのはたらきなどの体験もあり、目を輝かせて取り組む子供たちの様子や、友達と一緒に楽しむ笑顔がとても印象的でした。

科学技術館から国会議事堂までの道のりはバスの車窓から皇居の外堀や内堀、日本の経済の中心である大手町や東京駅周辺の様子など社会で学習したことを実際に見ることができました。

国会議事堂では、係の方の案内で国会内の様子を見学しました。なかなか入ることができない環境に少し緊張しながらも、実際に会議が行われている場所を見た際には、感動している様子が見られました。子供たちは厳かな雰囲気にも圧倒され、国の政治を決める大切な場所であることを肌で感じていました。

机上の学習だけでなく実際にその一端を体験したことで、楽しみながら理解を深めることができ、充実した社会科見学になりました。



学習発表会

図画工作専科 太田 初夏

2月8日（木）からの3日間、学習発表会が行われました。『桜の芸術 ～アイディアで埋めよう白いキャンバス～』のスローガンのもと、1年生から9年生までの日頃の学習の成果を、教室の壁面やパネル、布を敷いた台面を使用しながら、校内いっばいに展示することが出来ました。同じテーマであっても、作品や展示物にはそれぞれに異なる魅力があります。見比べるのも楽しく、また、それらが揃うことで更に迫力が増していました。



児童生徒の鑑賞日には、気に入った作品や心惹かれる作品に注目しながら、子供たちが作品を楽しく鑑賞している様子が見られました。自分も作ったことのある作品を下級生がどんなふうに作っているか、上級生になったらどんなことを勉強するのか等、さまざまな関心があるようでした。



展示物の名前やテーマを紹介する小看板を、今年度も学習発表会実行委員が作製しました。作品を華やかに彩る小看板もまた、鑑賞する人の注目を集めていました。学習発表会実行委員会は11月から始まり、5年生から8年生の実行委員がスローガン決めや看板制作を行い、展示の手伝いや片づけも担当しました。8年生の委員長を中心として、全体で非常にスムーズに動くことができました。



第7学年能狂言教室

第7学年担任 高橋 愛子



7年生は、能楽師の安田登氏と狂言師の奥津健太郎氏をお迎えして、能狂言教室を行いました。国内はもちろん、海外でも活躍されている先生方からの貴重なお話です。生徒たちは、目を輝かせて聞いていました。特に興味深かったのは「面」についてのお話だったようです。般若の面は女性を表していることや、角度を変えることで違った表情に見えることに驚き、面の作り方にも、とても興味を示していました。

悲劇の演目が多い能と日常のおかしみを描く喜劇の狂言は、表裏一体で、人生に数多くある悲しみと喜びと同じなのだとおっしゃっていたのが印象的でした。その後、先生方が能の演目「海女」、狂言の「盆山」の一部分を演じてくださいました。迫力のある演技にすっかり引き込まれ、生徒たちは一心に見入っていました。今から約650年も前の演目でも、笑ったり、感動できたりすることに能と狂言の奥の深さも感じる事ができました。



学校保健委員会の開催

小学部主任養護教諭 今澤 智絵

2月22日（木）に学校保健委員会が開催されました。コロナ禍で参集型での開催ができず、通常通りの開催となったのは約4年ぶりとなります。今回は、中学部・小学部の各学校医、学校歯科医、学校薬剤師の先生方や桜連絡会の代表の方にもお集まりいただき、本校の健康課題について多くのご意見をいただくことができ、大変有意義な会となりました。



定期健康診断の結果や保健室来室状況、体力テストの結果や学校給食、学校環境衛生の現状等について、養護教諭、体育主任、栄養教諭より報告がありました。大泉桜学園の児童生徒の健康状態について学校・家庭・地域で共有することで連携を強化し、今後のよりよい指導につなげていきたいと思ひます。

学校保健委員会の詳細資料につきましては、東西保健室にて保管してありますので、興味のある方はお気軽にお声がけください。

第25回虚子・こもろ全国俳句大会で賞をいただきました。中学生の部では毎年5千を超える応募がある中での受賞です。おめでとうございます！

学校賞：大泉桜学園（全国で2校のみ）

特選：9学年 佐山 心美 さん 佳作：9学年 佐野 リカコ さん 9学年 金森 優和 さん

3月行事予定

諸事情により予定が変更する場合があります。

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
		3月の避難訓練は予告なしで実施します。			都立合格発表 卒業式練習(58) ESAT-J(78)	
3	4	5	6	7	8	9
	朝礼 安全指導 卒業式練習(69) 保護者会(1256)	保護者会(78) 奉仕活動(6)	9年生を送る会 卒業式練習(69) 都立後期2次出願	委員会 卒業式練習(58) 東校舎プレ委員会 都立後期2次取り下げ	学習得点表配付 領域診断テスト(8) 都立後期2次再提出	都立後期2次入試
10	11	12	13	14	15	16
	桜学朝会(全校) 虹を渡ろう式 4年生に感謝する会 保護者会(34) 特別時間割(9)始 卒業式練習(5689)	奉仕活動(9) お別れスポーツ大会 (56)	百人一首大会(9)	卒業式予行(56789) 都立後期2次発表 1～4年午前授業	落語入門教室(789) 思い出遠足(6)	
17	18	19	20	21	22	23
	卒業式前日準備 午前授業(午後、8年は 式場準備) 通知表配付(69)	第13回卒業式 5年6年8年9年以外は 家庭学習	春分の日	5時間授業	大掃除 5時間授業 卒業生に学ぶ会(8)	
24	25	26	27	28	29	30
	修了式 離任式 給食終 午前授業	春季休業 3月26日(火)～4月7日(日)				
	4/8	9	10	11	12	13
	着任式 第1学期始業 式 給食始	入学式 4年9年以外は家庭学 習	安全指導 給食始(7) 計測(中)	聴力(1235) 内科検診(9)	保護者会(456) 対面式①② 内科(9)	

教育相談場所	西校舎3階「相談室」	東校舎1階「あったまルーム」
☆中学部	スクールカウンセラー(上草)火曜日9:00～17:00 心のふれあい相談員(石井)月・木曜日8:30～15:30	
☆小学部	スクールカウンセラー(中村)月曜日9:00～17:00 心のふれあい相談員(木村)火・木・金曜日9:00～14:00	
相談予約は専用携帯へお願いします。小学部:080-7798-3201 中学部:080-7798-3336(5・6年生は中学部用でも可)		